

大阪府富田林市 「地域連携サポートプラン」

提 案 書



令和2年10月

国土交通省
近畿運輸局
近畿運輸局大阪運輸支局

大阪府富田林市の概要、公共交通に関する主な取組

市の概要

概況

- 富田林市は大阪府の南東部に位置し、北は堺市(美原区)・羽曳野市、西は大阪狭山市、南西は河内長野市、東は太子町・河南町・千早赤阪村に隣接しており、令和2年4月で市政70周年を迎えた。
- 市内には鉄道2社、路線バス3社が運行している。
主要道路として南北に大阪外環状線(国道170号)、東西に国道309号が通っている。
- 人口は平成14年の126,000人をピークに減少を続け、現在は、年間1,000人前後減少しており、高齢化率は30.32%(R2.9.30現在)となっている。
- 富田林駅周辺の寺内町は、江戸時代や昭和初期の建物が多く残っており、文化庁から大阪府内で唯一『重要伝統的建造物群保存地区』に選定されている。また、市南部にある農業公園(サバーファーム)では、野菜の収穫体験やフルーツ狩り等ができる。
- 市に隣接する太子町に聖徳太子ゆかりの施設、河南町に近つ飛鳥風土記の丘やワールド牧場、千早赤阪村に金剛山など、歴史と自然豊かな観光施設・名所が点在する。



人口：
110,124人
面積：
39.72km²

公共交通に関する主な取組

◆基本方針・計画・体制

H10	富田林市都市計画マスタープラン策定（第1次）
H19	富田林市交通等バリアフリー基本構想策定
H19	富田林市都市計画マスタープラン改定（第2次）
H20	富田林市交通政策検討委員会設置
H24	富田林市交通基本計画策定
H24	富田林市交通会議設置
H31	富田林市都市計画マスタープラン改定（第3次）

◆取組

H5	レインボーバス運行開始
H15	レインボーバス有料化（100円）
H24	富田林駅ー金剛駅間直行バス社会実験（～平成25年度）
H29	「らくらくバスマップ」の作製
H29	藤沢台七丁目地域で公共交通の検討・勉強会を開始
H30	彼方上地区で公共交通の検討・勉強会を開始

大阪府富田林市における交通の現状と課題

交通の現状

鉄道

- 近鉄長野線 5 駅（喜志駅、富田林駅、富田林西口駅、川西駅、滝谷不動駅）と南海高野線 1 駅（滝谷駅）の 6 つの鉄道駅が存在しており、大阪狭山市との市境に、南海高野線の金剛駅が存在している。

バス

① 路線バス

- 近鉄バスが喜志駅と北西部地域(堺市方面)、富田林駅と金剛東地区を結んでいる。
- 南海バスが金剛駅と金剛・金剛東地区を結んでいる。
- 金剛自動車(金剛バス)が喜志駅と北東部地域(太子町、河南町方面)、富田林駅と東部・南部地域(河南町、千早赤阪村方面)を結んでいる。

② コミュニティバス (レインボーバス)

- 富田林駅から金剛・金剛東地区の公共施設を巡回し、市役所の出張所である金剛連絡所で折り返し、循環している。100円/1乗車。
- 主な経由地として、市役所、総合福祉会館、富田林病院、図書館等がある。

③ 病院無料送迎バス

富田林病院無料送迎バス

- 富田林駅及び金剛駅を含め、市内の至る方面に巡回するバスを運行している。

PL 病院無料送迎バス

- 近鉄バスが富田林駅発着便を、南海バスが金剛駅発着便を、それぞれ路線バスとして運行している（病院利用者無料、運賃は病院負担）。
- その他、主に北部地域を巡回するバスを運行している。

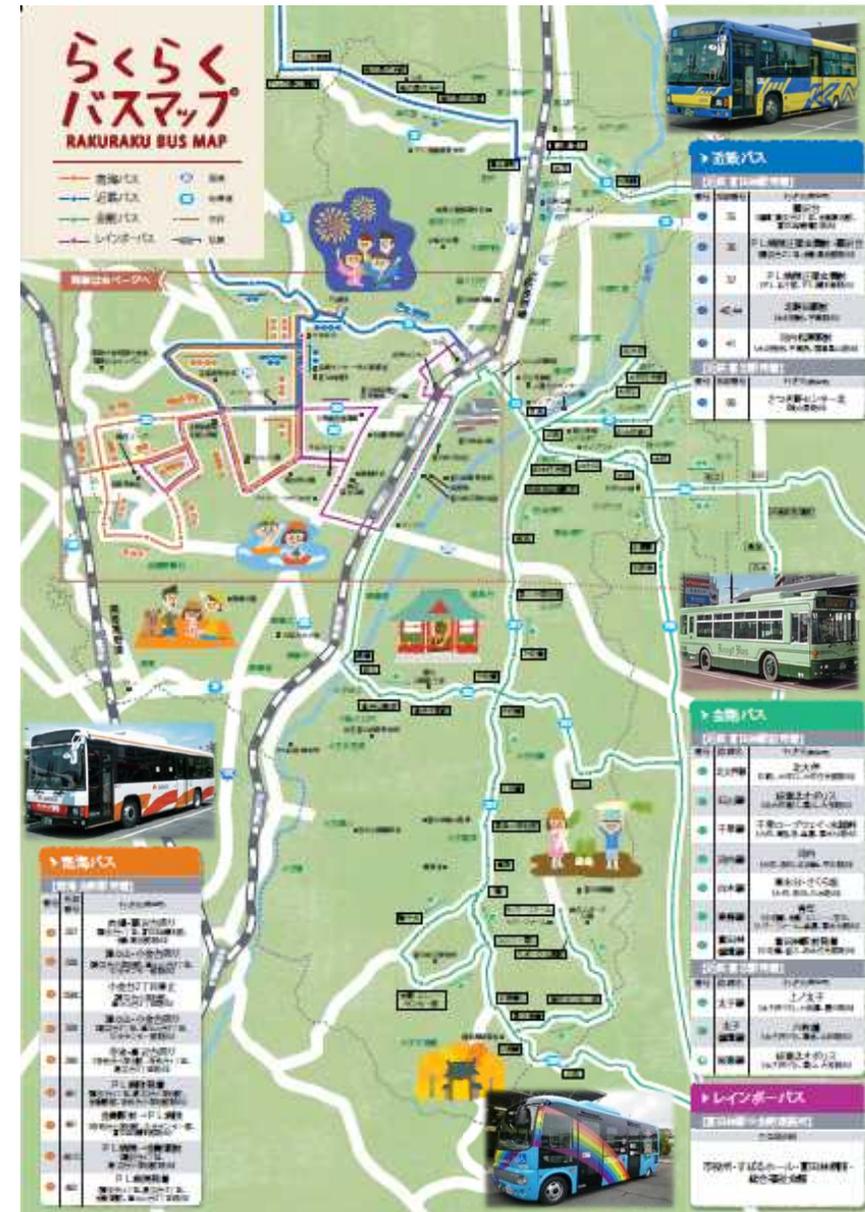
④ その他無料送迎バス

- サバーファーム、かんぼの宿、総合福祉会館等が無料送迎バスを運行している。

課題

- ① 路線バス、レインボーバス、病院無料送迎バスの競合・重複
- ② 交通不便地域における移動手段の確保
- ③ 市民の公共交通維持・活性化に関わる意識の醸成
- ④ 公共交通利用促進への取組

公共交通マップ

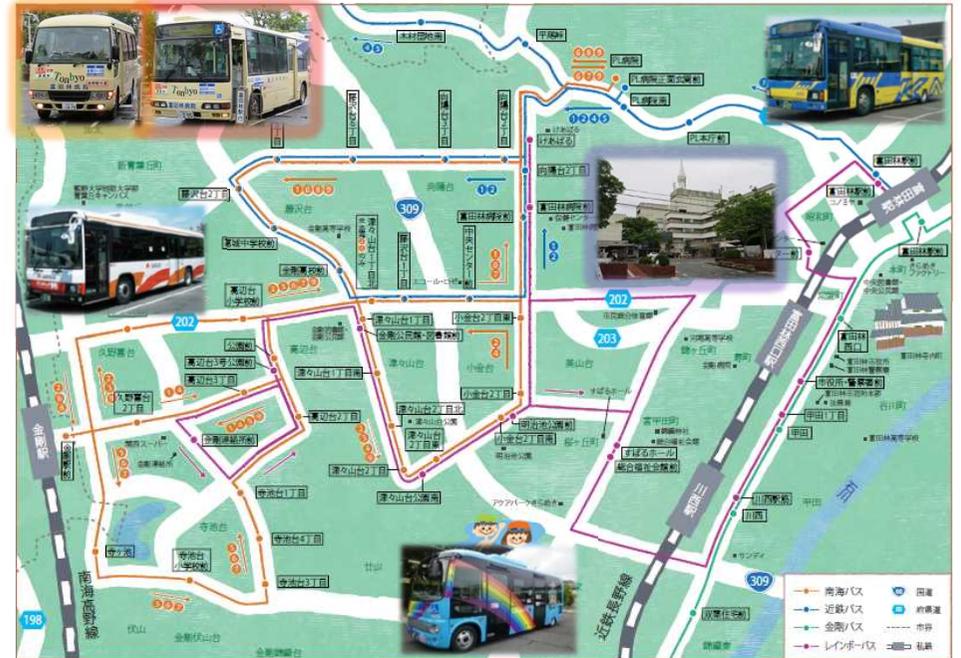


課題①について(大阪府富田林市)

【課題①】 路線バス、レインボーバス、病院無料送迎バスの競合・重複

●金剛・金剛東地区で、路線バス、レインボーバス、病院無料送迎バスの競合・重複区間が存在する。

- 金剛・金剛東地区では、同一エリアに路線バス・レインボーバス・病院無料送迎バスといった複数のバスが運行し、近鉄富田林駅と南海金剛駅間の東西交通が輻輳している。
- 市の人口は、年間1,000人前後減少し続けており、また、同地区の路線バス利用者も減少傾向であるため、このまま競合・重複による東西交通の輻輳状態を放置すれば、路線バスの衰退による減便又は休廃止を招く恐れがある。
- 現在、富田林病院においては、令和3年秋のリニューアルオープンに向け、建替工事中であり、バスロータリーを敷地内に設置する計画を進めているところである。



【富田林病院～近鉄富田林駅間】

・近鉄バス	約15分	250円
・レインボーバス	約20分	100円
・病院無料送迎バス	約10分	無料

【富田林病院～南海金剛駅間】

・南海バス	約20分	230円
・レインボーバス	約15分	100円
(ただし、富田林病院～金剛連絡所前間)		
・病院無料送迎バス	約15分	無料

【津々山台1丁目～小金台2丁目南間】

・南海バス	約5分	170円
・レインボーバス	約3分	100円
(金剛公民館・図書館前～明治池公園前間)		



病院無料送迎バス時刻表
(南海金剛駅前)



建替工事中の富田林病院



病院無料送迎バス時刻表
(近鉄富田林駅前)

課題①に対する提案(大阪府富田林市)

【課題①】に対する提案

● 競合・重複区間のレインボーバス・病院無料送迎バスによる輸送を路線バスへ移行する。

- レインボーバスについて、既存路線バスと重複するルートの見直しや、路線バスと重複する区間は運賃の統一化を図る等、既存路線バスに影響を与えないよう見直しを検討する。
- 令和3年秋にリニューアルオープン予定の富田林病院の敷地内に、路線バスが直接乗り入れできるようにし、それに合わせて、富田林病院から近鉄富田林駅への送迎は近鉄バスの既存路線バスに、南海金剛駅への送迎は南海バスの既存路線バスに移行することで、輻輳の解消が期待できる。

バス停を病院内ロータリーに設置した例
(栃木県足利赤十字病院)



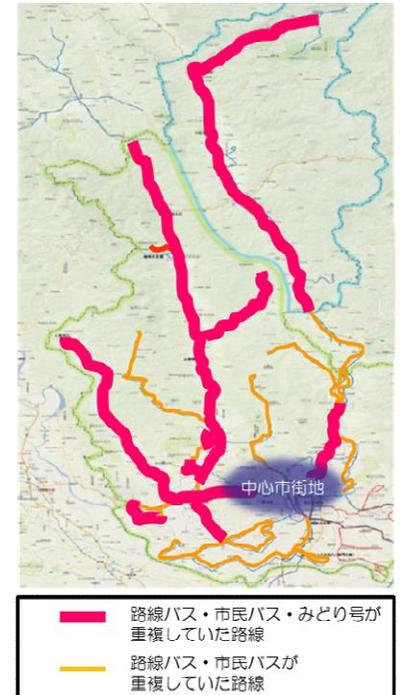
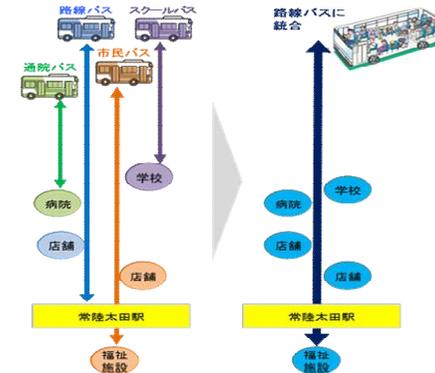
路線バスへの統合例(茨城県常陸太田市)

背景・課題

- ✓ 路線バス、コミュニティバス(市民バス)、無料通院バス、スクールバスが同じ路線を重複して運行
- ✓ 運行日(週1~7日)、ダイヤ・本数、運賃体系(距離制、200円均一、無料)の棲み分けがなされておらず、非効率な運行

対応策

- ◆ 路線バス以外のバスを廃止し、路線バスに統合
- ◆ 運行日を毎日(平日)とし、ダイヤ・本数も調整
- ◆ 運賃体系も分かりやすい3段階制に変更(200円、300円、500円)

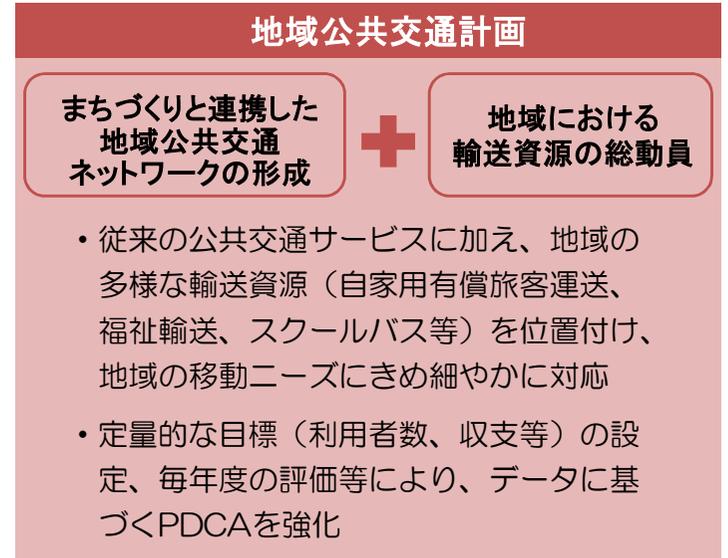


課題①に対する提案(大阪府富田林市)

【課題①】に対する提案

● 地域公共交通計画を策定し、競合・重複の解消、役割の明確化につなげる。

- ・利用者ごとの乗降区間調査により、利用状況（乗降区間・時間帯等）や利用目的等を把握し、効率的な路線網・運行計画を検討する。
- ・路線バス、レインボーバス、無料送迎バス等、各交通機関の競合重複をできるだけ解消し、路線バス網を基本として、その果たすべき役割を明確にするとともに、交通不便地域の交通手段確保も同時に検討する。
- ・交通政策担当部門だけではなく、他の部門（福祉・教育・まちづくり・観光等）とも連携し、市の他計画とも整合した地域公共交通計画とする。
- ・地域の生活圏の範囲が隣接市町村に及び場合には、当該市町村と連携し、生活圏に見合った交通サービスの導入を検討する。
- ・地域公共交通計画には、定量的な目標（利用者数、収支等）を設定し、毎年度、その達成状況を評価することにより、改善策を検討する。

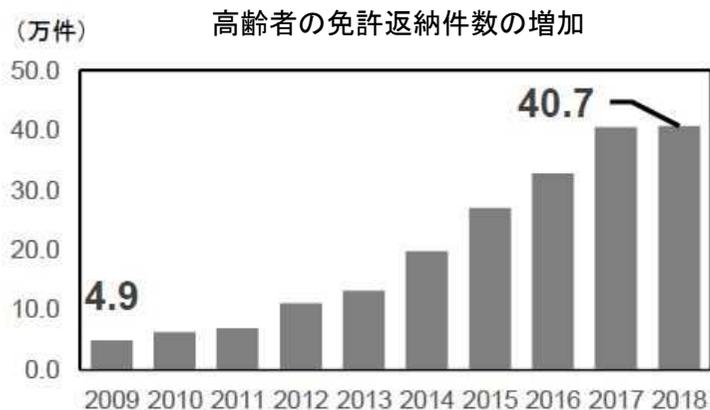
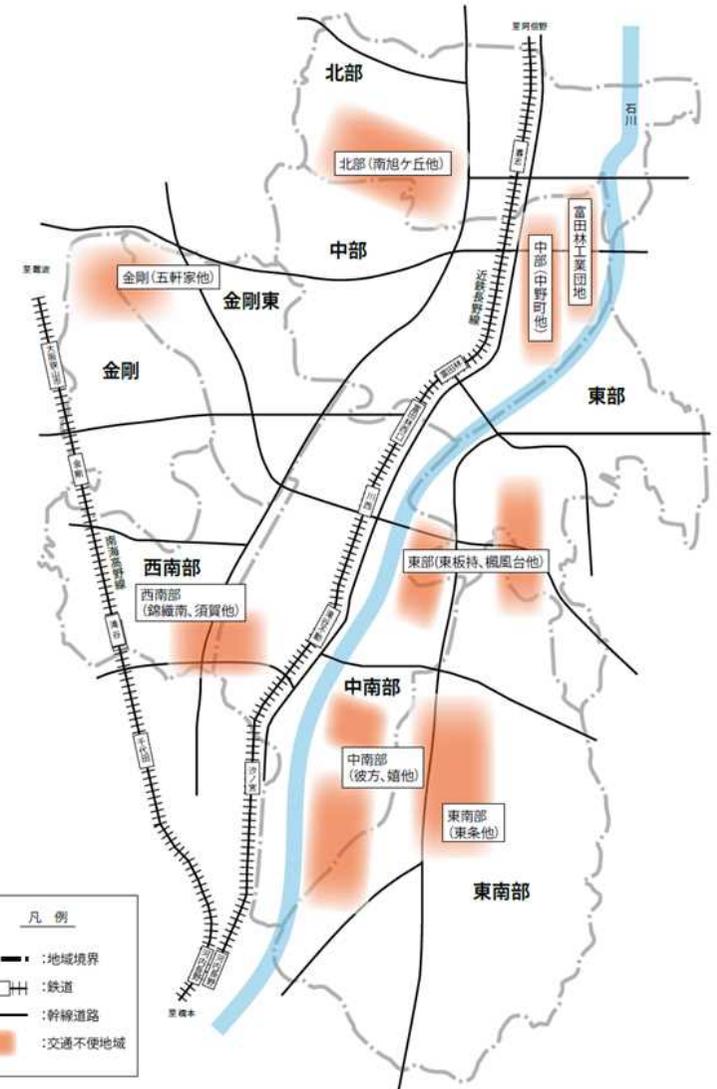


※ なお、国土交通省の支援制度として、地域公共交通計画の策定にあたっては、地域公共交通調査事業（計画策定事業）を利用することが可能である。

【課題②】 交通不便地域における移動手段の確保

● 特性の異なる交通不便地域が存在し、移動手段の確保が求められている。

- 市街地の公共交通カバー率（駅勢圏500m、バス停圏300m）は、84%となっており、市街地の大半がカバーされているが、地域によって特性の異なる交通不便地域が存在する。
- ベッドタウンとして開発が進んだが、その地域の多くは駅まで坂道が多く、これまでは上り坂も下り坂も気にならなかった住民も高齢化が進んでいくにつれ、移動するのに厳しい地形となっている。
- 高齢化により、自家用車を利用できなくなった人達が移動困難者となってきている。



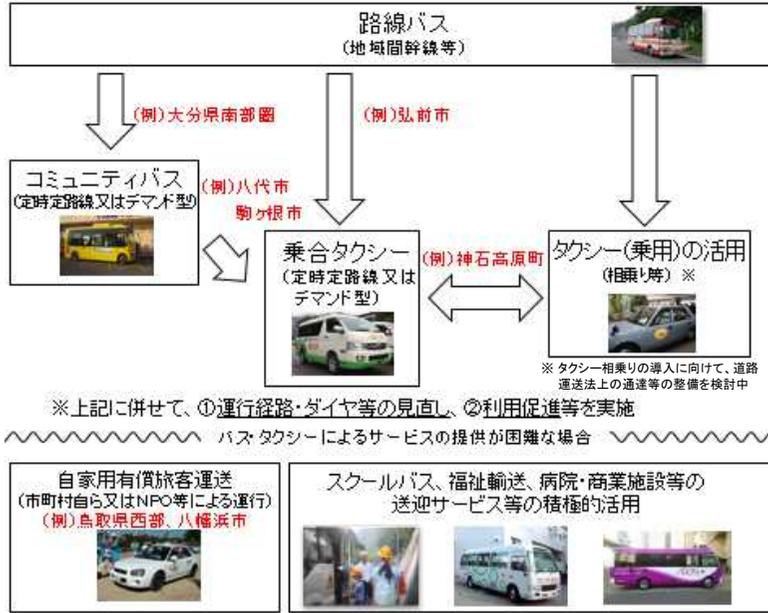
(出典) 警察庁「運転免許統計」より国土交通省総合政策局作成

課題②に対する提案(大阪府富田林市)

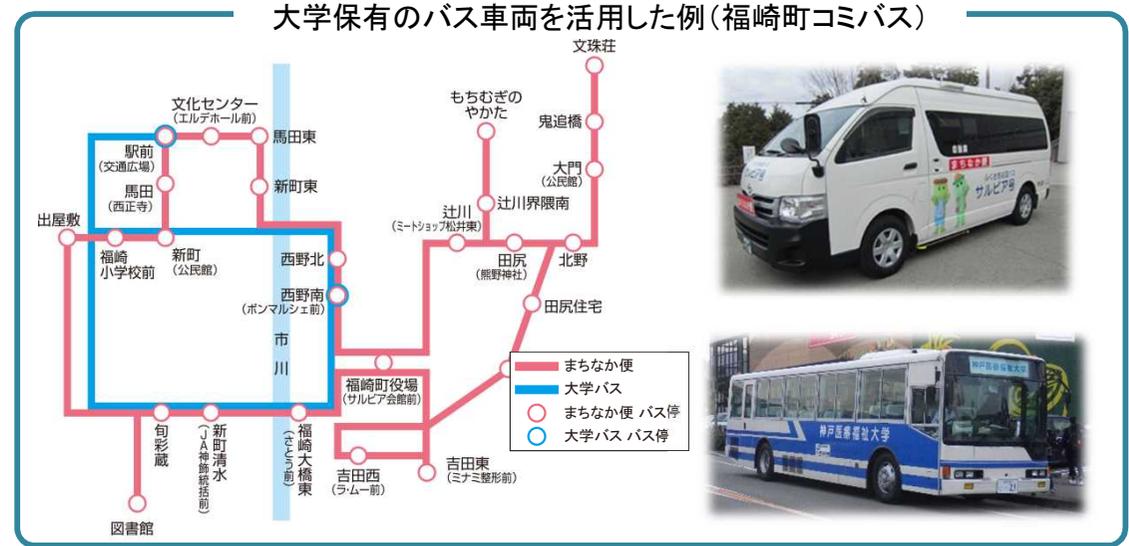
【課題②】に対する提案

● 地域の多様な輸送資源を活用し、地域主体型交通の導入を検討する。

- 既存の路線バスによるサービス対応が困難である場合には、どのような交通手段が必要かを地域住民や自治会が主体となって地域主体型交通の導入を検討する。

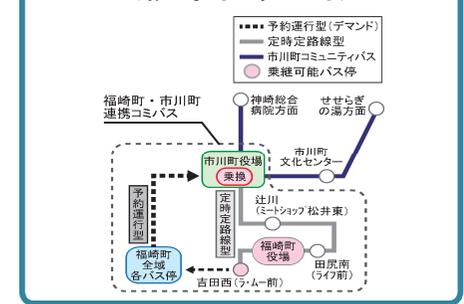


- 既存の交通資源である病院無料送迎バス、その他の無料送迎バス、スクールバス等を、市町村有償旅客運送の車両として活用し、市民や来訪者の移動手段として利用することを施設関係者や市の福祉・教育担当部署等と検討する。



- 市内で完結するよりも、隣接市町村に接続した方が便利・効率が良い場合には、関係市町村にも協力を依頼し、地域に見合った交通サービスを導入することが望ましい。

隣町と連携したコミバスの例 (福崎町・市川町)



- 自家用有償旅客運送において、バス・タクシー事業者に運行管理、車両整備管理の面で協力してもらう制度を活用することも可能である。

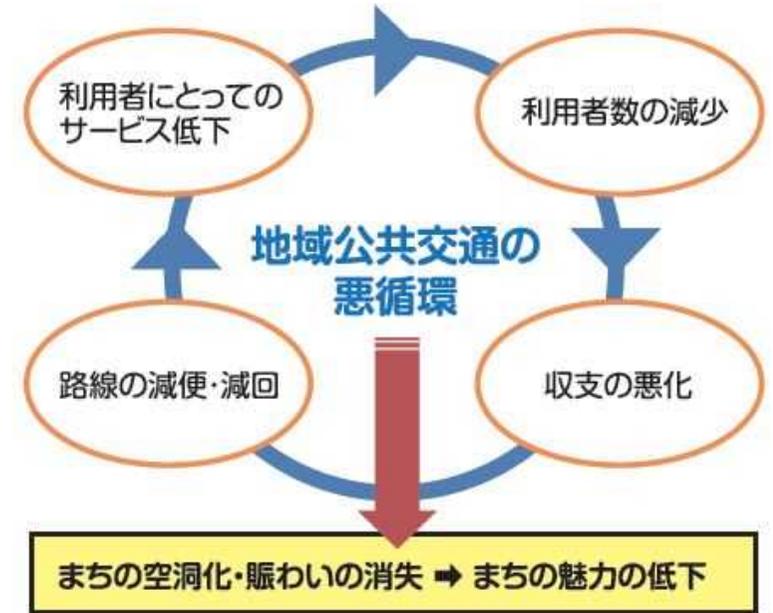


課題③について(大阪府富田林市)

【課題③】市民の公共交通維持・活性化に関わる意識の醸成

● 市民の公共交通への関心は低く、公共交通の維持・活性化への取組が乏しい。

- 多くの市民はまちづくりと公共交通に興味を持っている一方、公共交通に「乗って活かそう」という意識が浸透しておらず、移動手段は交通事業者又は行政から当たり前のように提供されるものという認識を持っている。
- 市が公共交通維持のためにレインボーバスに多額の公的支援を行っていることや、民間バス事業者の苦しい経営状況・乗務員不足について、市から十分な情報発信ができておらず、必ずしも市民の理解が得られているとは言えない。
- 運転をすることが困難な高齢者、免許を取ることができない高校生、様々な事情で車を使うことができない人々のためにも、公共交通の確保・維持は地域を支えるために必要な取組である。

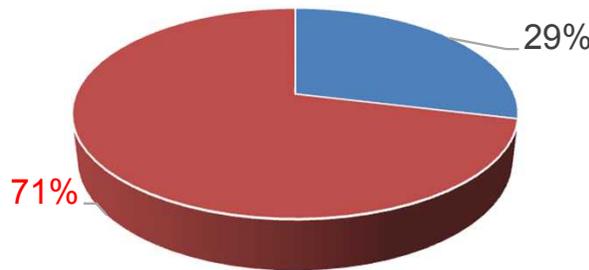


平成30年度に実施された路線バスの減便・休廃止

	関係事業者数	関係市町村数
大阪府	3	10
兵庫県	2	5
京都府	3	4
滋賀県	3	7
奈良県	2	10
和歌山県	3	5
合計	16	41

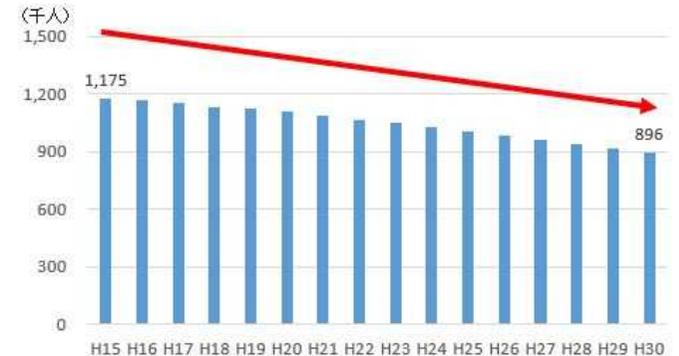
近畿運輸局交通政策部調べ
※小規模な案件等は含んでいない

一般路線バス事業が赤字であるバス事業者の割合



(出典)国土交通省自動車局発表資料より総合政策局作成

第二種大型自動車運転免許保有者数



(出典)警察庁「運転免許統計」より国土交通省総合政策局作成

課題③に対する提案(大阪府富田林市)

【課題③】に対する提案

● 公共交通の現状・課題について、市民に向けて積極的に情報発信する。

- 市の広報誌等において、公共交通の現状、市・事業者の取組、市民へのメッセージ等の情報を、市民へ向け、定期的に発信する。

- 市民への直接的な働きかけとして、シンポジウムや地域でのワークショップ開催等の考える機会を提供する。

公共交通の厳しい現状の解説

みんなが公共交通を守ろう

公共交通を使った生活を実践している市民の紹介

公共交通に関する市の取組紹介

交通政策の有識者からのメッセージ

(出典)河内長野市広報誌



紀の川市 地域公共交通活性化シンポジウム



太子町 ワークショップ

- 子供や高齢者を対象に、バス車両を使用して、交通環境教室、バリアフリー教室、バスの乗り方教室等の体験型イベントを開催するなど、公共交通を身近なものとして意識してもらおう取組を、継続して実施する。

市長から公共交通政策の紹介

大型二種免許取得時の助成制度の紹介

バス運転士募集の広告

女性バス運転士へのインタビュー

高校等通学補助金の申請案内

(出典)福岡県嘉麻市広報誌

くらしのカレンダー 8月

バス車両整備士の仕事内容紹介とインタビュー

(出典)紀の川市広報誌



河内長野市 市民まつり



河内長野市 交通環境教室

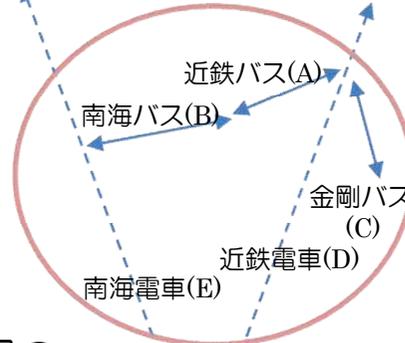
【課題③】に対する提案

● 交通事業者等関係者との連携・協働により、市民が主体的に公共交通に關与する仕組みを構築する。

- 公共交通を利用しておでかけするイベントを開催し、まずは実際に利用してもらい、今後も乗ってもらうきっかけを作る。
 - 路線バス・鉄道事業者と連携したスタンプラリー
 - 市内外のお勧めスポットを路線バスで巡るツアー
- 福祉部署等と連携し、高齢者等を対象としたスマホ教室で、公共交通の経路検索や運行情報等を調べる方法を案内し、積極的に公共交通を利用してもらえるきっかけを作る。



枚方市 バス!のってスタンプラリー



A+B+C
⇒ 定額乗り放題

A+B+C+D+E
⇒ 定額乗り放題



河内長野市 高齢者対象のスマホ教室



- 市内の回遊性・利便性を高め、市民の潜在的な移動需要を掘り起こすため、路線バス・鉄道事業者協力のもと、エリア内共通一日乗車券が導入できないか検討することも考えられる。

また、導入する際は、沿線店舗等の協力を得て、協賛店舗で優待サービスが受けられる等、付加価値を付けることができれば、利用者が増加し、地域の活性化につながる事が予想される。

特に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、激減している公共交通の利用者を回復させるべく、運賃割引などの即効性の高い仕組みの構築が重要である。

- 市内の小学生等に協力してもらい、子供が描いた絵画をバス車内に展示したり、子供の声によるバス車内アナウンスを実施する等、親子3世代でバスに興味・関心を持ってくれる市民を増やす。



市川町 小学生が描いた絵の車内展示

課題④と提案(大阪府富田林市)

【課題④】公共交通利用促進への取組

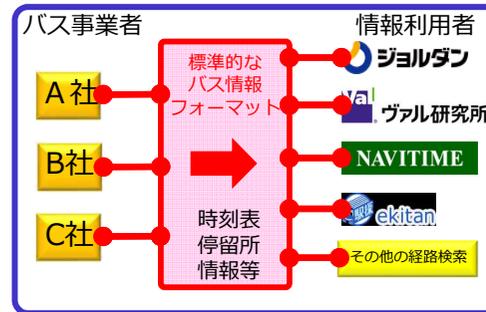
● 公共交通機関の利用を促す取組が乏しい。

- ・市の東部・南部地域を運行する金剛バスが、キャッシュレス決済に対応しておらず、経路検索システムにも一部対応していないところがあり、乗客の取りこぼしが発生しているものと推測される。
- ・また、市には3社(近鉄バス、南海バス、金剛バス)のバス路線が運行されているが、駅や病院、エコール・ロゼ(中央センター前)等で、他社のバスへ乗り換えはできるものの、それぞれの運賃を支払うことになるため、利用者にとっては割高に感じてしまう。

【課題④】に対する提案

● 路線バスの利便性を向上させ、地域全体の活性化につなげる。

- ・市及び周辺市町村を訪れる観光客や市内在住者の回遊性・利便性を高めるために、金剛バスへのICカード等キャッシュレス決済導入、標準的なバス情報フォーマットの整備等を検討する。



- ・市内の回遊性・利便性を高めるため、市内でのバスの乗り換えを【乗り継ぎ】にすべく、2社以上のバスを乗り継いだ場合、市が独自で割引制度を導入することを検討するとともに、共通定期券の導入についても検討する。

A社運賃	200円
+ B社運賃	200円
<hr/>	
	400円 (利用者負担)



300円 (利用者負担) + 100円 (市負担)

※ なお、国土交通省の支援制度として、キャッシュレス決済の導入にあたっては、訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(交通サービスインバウンド対応支援事業)等、標準的なバス情報フォーマット等のデータ作成及び出力が可能なシステムの整備にあたっては、観光振興事業(公共交通利用環境の革新等事業)等を利用することが可能である。

協定締結から提案に至るまでの主な取組(大阪府富田林市)

- 令和元年 8月30日 地域連携サポートプラン協定締結
- 令和元年 9月19日 富田林市 打合せ、現地調査
- 令和元年10月24日 近鉄バス(株) 意見交換
- 令和元年12月 4日 南海バス(株) 意見交換
- 令和元年12月26日 富田林市 打合せ、現地調査
- 令和2年 1月22日 富田林病院 意見交換
- 令和2年 2月 7日 金剛自動車(株) 意見交換
- 令和2年 2月28日 富田林市 打合せ、現地調査
- 令和2年 6月 3日 富田林市 打合せ、現地調査
- 令和2年 7月14日 富田林市 現地調査
- 令和2年 7月21日 富田林市 打合せ、現地調査
- 令和2年 9月11日 富田林市 打合せ
- 令和2年10月27日 地域連携サポートプラン提案書交付



サポートプラン協定締結式



富田林市内 現地調査